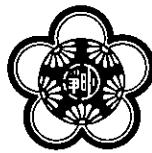


色々ございましたでしょうが、一〇〇年目を迎えるということはとても感無量でございます。校名の由来である「明く、淨く、直く」の建学の精神は現在も受け継がれています。豊かな心と深い教養を持つ女性を育成。移り変わりゆく時代の中で、この明淨精神を確固たる基盤とした教育を継承して参ります。家隆忌、芭蕉忌、新年かるた会、新年和歌披露会は、脈々と受け継がれ伝統を守つております。

私が校長を仰せつかり、毎日学校へ行きますと、生徒達と朝の挨拶から始まり、生徒達の様子を毎日見るようになります。私が学生の時から変わらず、挨拶から始まる様子をとても懐かしく思い出されます。

生徒達と一緒に修学旅行にも行きました。一緒にバスに乗り、いちご狩りや急流すべりなどもしました。

校長に任命される前から、学校に関わりっていました。八月、地域の皆様に楽しんでい



わが半生 明淨とともに

嶋 茂代

ただく為に、運動場で夏祭りを開催致しました。縁日、軽音楽、盆踊りなどで賑わいました。家族連れで大勢お越しください大盛況でした。生徒には浴衣を用意、礼法の先生が着せてあげました。照思会からは飲み物を提供していただき、有難うございました。

生徒達の笑顔を今後も守り、女子校ならではの、マナーや礼仪作法などにもしっかりと取り組んでいきたいと思います。

最後になりましたが、照思会の益々のご発展を願い、今後も生徒達と共に学校を守つて、創立の地で存続させるために、全力で取り組んでいきたいと思つております。

皆様のご指導、ご鞭撻の程よろしくお願い申し上げます。

明淨学院高校は、一九二一年創立以来九十八年の歴史を積み重ねてきたという。大正、昭和、平成、そして令和、変遷の激しい時代を見事に生きぬいて、なに今日があるというのは喜ばしいことである。卒業生の数は、三万七千人を超える。一世紀近く、この阿倍野の地で、女子高等教育に立派に貢献してきたのだと思う。

私が明淨に着任したのは、昭和四十六年、平成三十一年まで四十七年間、人生の大半をこの学校で過ごした。「ほんの三か月ほど手伝つてほしい」というお誘いを受けて、軽い気持ちでお返事をしたのが、何と半世紀近くも長居することになってしまった。

私はある時、大学の先輩に、「あなた同じ職場でそんなに長

く居て、その間、辞めて外に移りたいと思うことはなかつたの？」と聞かれたことがあります。私は、大学を卒業してすぐ和歌山県立高校の採用試験に合格して、母校に招かれた。地方の進学校で、かなり高い教育資質を要求された。ここでの三年間の経験は、国語教員としての基礎を培う上で、貴重な時期であった。今もその頃の教え子たちは、親しい交流を続いている。

私が明淨に着任したのは、昭和四十六年、平成三十一年まで四十七年間、人生の大半をこの学校で過ごした。「ほんの三か月ほど手伝つてほしい」というお誘いを受けて、軽い気持ちでお返事をしたのが、何と半世紀近くも長居することになつてしまつた。

二人の子供がともに学令に達した頃、この明淨のお話をいた庭の仕事を専念した。

その後、結婚、出産、育児の時期は完全に教職を離れて、家庭の仕事を専念した。

二人の子供がともに学令に達だいたのだった。最初は随分勝手のちがう校風に戸惑うことが多かった。大阪の大都会のまん中で、まだこんな場面もあるのかと、厳しい服装検査などに疑問を感じることも多かつた。ところが、三ヶ月を過ぎても継続して働くように依頼された。どこに身を置いても、教育の仕事に変わりはない。柔軟に臨機応変に、自分の持つている力で貢献できない場所などない。迷いがなかつたと言えば嘘にならうが、少なくとも逃げ出そうと思つたことはなかつた。そこには、この学校のもつ大切な精神が、私の心をとらえて離してくれなかつたとでもいいたいほどの理由があつた。

この学校の創立以来の教育理念が、ぶれずに愚直なままで守られていることだつた。女子教育などする考え方だつた。戦前、戦中、戦後の時代の大きな転換期にもその思想を守り続けた。どう時代の価値観が變つても、人間の「心のあり方」は普遍のものであり、人格を形成していく時期に、心の健全なあり方を教える。それが社会の礎となり、未来への正確な進み方を示唆するものである。人類の歩んでき

照思会報

た過去の伝統を軽んずることなく、それを学び、実践し、未来を模索してゆく。学校はその礎の時代を担う責務をもつ。その目には見えない内面を重んじる教育、一見ひ弱そうにみえる思想が、この学校の百年を支えていると思う。

近況報告と抱負

九十三期生 田中 望み 愛

このたびは照思会総会のご開催おめでとうございます。次の

いきたいと思うようになります。

三月で明淨を卒業してから二年が経ちます。今は大学で心理学を専攻しながら高校芸術科の書道教員を目指しています。きっかけとなつたのは、明淨での授業や書道部での活動です。特に書道部での活動で、日々の練習はもちろん、展覧会に向けた作品制作を通して様々な古典に触れ、書道の奥深さや可能性を教えていただきました。そして、私も将来の生徒たちへと伝えて

「芸術」です。現代社会で我々

に立つてはいるようだ。世界はめまぐるしく進化しているが、人の心を置きざりにしては歴史は築けない。

教育の根源を忘れず、浮き足立たず、思慮深くよりよき明淨の未来を目指してほしい。

が扱う電子機器のデータは思いのほか脆弱で、残したいものでもうつかり消えてしまうことがあります。それに対して紙で表現する書は、大切に保管しておけば消えて無くなることはありません。また、今日では電子機器の発達により、文字を自らの手で書くことが少なくなっています。

そんな現代だからこそ、人が書く多様な文字の面白さや手書き文字の温かさに触れてもらいたいと考えています。また、芸術としての書道の楽しさや新たな可能性を気付いてもらえるような教員になりたいと思いま

す。科目指導のみならず、生徒に寄り添い、ともに成長できるような教員になるべく日々精進してまいります。高校時代に晴らしい師に出会えたご縁に感謝。

一一〇一八年

・第七〇回 毎日書道展U一二三漢字部II類
入選

・第五十三回 高野山競書大会
毎日新聞社賞

・第七回 佐久全国臨書展
佳作

一一〇一九年

・第七十一回 每日書道展U一二三漢字部II類
入選

・第五十四回 高野山競書大会
高野山管長賞

・第八回 佐久全国臨書展
秀作

いきたいと思うようになります。
残念なことに、書道に対しても苦手意識を持つ人が多いように感じます。中では「綺麗に書かなければならない」と身構えてしまう方も多いようですが、書写のように読みやすく早く書くということが目的ではありません。書道は自分の書表現をするだけでなく、ほかの人の作品を見て感じたり考えたりしながら、誰もが楽しむことのできる

最後にはなりますが、明淨学院の今後の更なるご発展をお祈りしております。



直近二年間の入賞・入選歴

☆ 近年のクラブ活動成績 ☆

吹奏楽部

[平成29年度]

- 第67回 関西吹奏楽コンクール
第65回 全日本吹奏楽コンクール
第39回 マーチングバンド関西大会
第45回 マーチングバンド全国大会
第4回 カラーガード関西大会
第1回 カラーガード全国大会

[平成30年度]

- 第68回 関西吹奏楽コンクール
第66回 全日本吹奏楽コンクール
第40回 マーチングバンド関西大会
第46回 マーチングバンド全国大会
第5回 カラーガード関西大会
第2回 カラーガード全国大会

[令和元年度]

- 第69回 関西吹奏楽コンクール
第67回 全日本吹奏楽コンクール
第47回 マーチングバンド関西大会

バスケットボール部

[平成29年度]

- 第70回 大阪高校バスケットボール選手権大会
第64回 近畿高校バスケットボール選手権大会
優秀選手賞 稲井朋香(3年)
第72回 大阪高校総合体育大会
第65回 大阪高校バスケットボール新人大会
第28回 近畿高校バスケットボール新人大会

[平成30年度]

- 第71回 大阪高校バスケットボール選手権大会
第65回 近畿高校バスケットボール選手権大会
第73回 大阪高校総合体育大会
第66回 大阪高校バスケットボール新人大会
第29回 近畿高校バスケットボール新人大会

[令和元年度]

- 第72回 大阪高校バスケットボール選手権大会
第66回 近畿高校バスケットボール選手権大会
第74回 大阪高校総合体育大会

金賞
銀賞
金賞
銀賞
金賞
最優秀賞

金賞
銀賞
金賞
銀賞
金賞
銀賞

第3位
ベスト8
優秀選手賞 稲井朋香(3年)
第3位
第3位
ベスト8

第4位
出場
第3位
第3位
出場
第4位
出場
第3位

ソフトテニス部

[平成29年度]

- 近畿高校ソフトテニス選手権大会(団体戦) 出場
大阪高校総合体育大会 中央大会(個人戦) 出場

[平成30年度]

- 近畿高校ソフトテニス選抜インドア大会(個人戦)
勝亦・小島組 出場

[令和元年度]

- 第66回 大阪私立高校総合体育大会 第5位

バレー部

[平成29年度]

- 大阪高校春季バレー部大会 1部3位
大阪高校新人バレー部大会 1部 3位

[平成30年度]

- 大阪高校春季バレー部大会 1部 4位
大阪高校新人バレー部大会 2部 2位

[令和元年度]

- 大阪高校春季バレー部大会 2部 優勝
第74回 大阪高校総合体育大会 ベスト16

ソフトボール部

[平成29年度]

- 第72回 大阪高校総合体育大会 ベスト8
第16回 大阪高校ソフトボール秋季大会 ベスト8

[平成30年度]

- 第16回 大阪高校ソフトボール春季大会 ベスト8
第17回 大阪高校ソフトボール秋季大会 ベスト16

[令和元年度]

- 第17回 大阪高校ソフトボール春季大会 ベスト16

☆その他、今年度の活躍生徒

バトントワリング

- 2019 IBTF グランプリ大会
女子ジュニア部門 第9位 狩野麻耶(2年)
第10回 WBTF インターナショナルカップ
アーティスティックトワール部門
第5位 狩野麻耶(2年)
アーティスティックペア部門
準優勝 恵納小夢(1年)

△編集後記△

今年度の総会の催し物は伝統芸能のひとつであります、「紙切り」の芸を企画いたしました。楽しんでいただけましたでしょうか。

今年も、会員の皆様の案内状が、数多く戻つてまいります。お友達で住所を変更し、まだ照思会へ届け出ておられない人をご存知の方は、ぜひ照思会までお知らせ下さい。

(S/O)



(1) 平成29年10月15日発行

会報

思照会
平成二十九年度 総会あいさつ



照思会の皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

今年三月末に瑞東校長先生、向阪教頭先生がご退任になり、四月より、絵面功二校長先生、小林俊裕教頭先生がご就任されましたのでお知らせ致します。

校長先生、教頭先生、諸先生方、事務所の皆様には、日頃から、何かと照思会にお力添え下さいまして、誠に有難く感謝申し上げます。今後ともどうぞ宜しく

十月になり、秋めいた心地よい風が吹きわたるようになります。

照思会の皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。

平成三十三年（二〇二一年）に迎える、学校法人明淨学院創立百周年に向けて、寄付金募集を行っています。皆様のお手元に届いております「寄付金募集趣意書」にご賛同いただき、学

お願い致します。

続きまして、同窓生のご活躍をお報告致します。二十八期生の木村朝子様（旧姓仁丹様）が日本水墨画展において、最高の名誉「文部科学大臣賞」を受賞されました。素晴らしい快挙に、私達も誇らしく、心が晴れ晴れ致します。受賞、誠におめでとうございます。

ささらに有難いことに、受賞なさった「四曲屏風」を母校に寄贈していただけることになりました。誠に有難うございます。

本日、皆様にお披露目させていただきます。会報に受賞歴、受賞なさった「四曲屏風」の写真を掲載しております。

さて、二十九年度の総会は、

ので、受験適齢期の子女（子、姉妹、孫、姪）をお持ちの皆様におかれましては、ぜひ、母校への入学、ご紹介を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

「明く、淨く、直く」の精神を受け継ぎ、羽ばたく未来の後輩達を育成すべく、会員の皆様のご支援よろしくお願い致します。

続きまして、同窓生のご活躍をご報告致します。二十八期生の木村朝子様（旧姓仁丹様）が日本水墨画展において、最高の名誉「文部科学大臣賞」を受賞されました。素晴らしい快挙に、私達も誇らしく、心が晴れ晴れ致します。受賞、誠におめでとうございます。

ささらに有難いことに、受賞なさった「四曲屏風」を母校に寄贈していただけることになりました。誠に有難うございます。

本日、皆様にお披露目させていただきます。会報に受賞歴、受賞なさった「四曲屏風」の写真を掲載しております。

また、昨今の少子化により、母校の入学者数が減少してしまって、充実した「会員子女対象の奨学金制度」を設けております

阪城を一望出来る「KKRホテル大阪」で開催致します。催物は、「ウルサン国際大会」優勝、亜空亜SHIN（あくあしん）マジックショーです。中国伝統芸の変面、至近距離で行われるマジック、皆様をハラハラドキドキの別世界へご案内致します。

今後とも会員の皆様のご指導とご鞭撻を賜りながら照思会を盛り立てていきたいと思つております。どうぞよろしくお願い申上げます。

皆様お馴染みになりました、大



校長 絵面功二

で、楽しいひとときと共に過ごし、次回もまたお会いします。季節はこれから寒さに向います。皆様、くれぐれもお身体を大切になさってください。そして元気でお過ごしくださいませ。

この一世紀の間でも見た

の時代にはそぐわないものは



第37号

平成29年10月15日発行
発行所
明淨学院高等学校照思会
大阪市阿倍野区文の里3丁目15番7号
電話 大阪 06(6623)0016

好みとなつて顕在化し、再構築が求められているのです。

世界的な有名企業の中でも、一〇〇年以上ビジネスが継続している企業数は少數と言われています。一〇〇年を超える長寿企業の数が限定的なだけなく、生き残った企業でさえ実は創業時のビジネスから幾度となく、大きく姿を変えた形の企業形態、主要業種になつて存続しているのです。

社会や人々から求められる存在であり続ける組織は、自らの変化を恐れず、果敢に使命を果たし続けるために、時として伝統を壊し、そして、新たに一から伝統の種をつくことが必要なのです。それは、我々の先人が立証していることなのです。そういう組織は、反対に、伝統とは何かをはき違え、伝統と有職故実とを混同してしまう間違えをしてしまうのです。したがつて、これらの組織は、無駄な伝統を持つていいない新参者にその地位を容易に奪われ消えていく、つまりは、社会からの二一

ズに応えることができない存在意義のないものになつていく運命を辿ることになるのです。

さて、わが明淨学院高等学校は創立一〇〇周年を迎える秒読み段階まで来ました。まさに、教育の世界でも存在意義のある組織として生き続けるために、既述の理解を、全教職員が共有することが求められているのです。伝統を壊す勇気、そして、新たな伝統を生み出す力が必要なのです。

当寄稿のタイトルは、「見過激な表現とも受け取られるかもしれません。敢えて、一石を投じるように、私は伝統を破壊する勇気を持つことを提起したいのです。

今後を見据えて

教頭 小林俊裕

いと考へ、記したのです。

「伝統を重んじて」という言葉は、往々にして、美辞麗句と私は感じています。戦略を持つた上で、言葉でないと、如才ないものを際立たせる表現として使われる軽いものとしか思えないのであります。

わが、明淨学院高等学校は、社会的貢献できる組織であり続けることが使命なのです。先見性を有し、正しいと判断したことは伝統を壊してまでも取り組んでいく、臆することない学校になるべきなのです。私は、そのことを強く肝に銘じて「行動をしていく学校」に変えていきたいのです。

本校は、大正十年（一九二一年）に創設され、「明く・淨く・直ぐ」の校訓のもと、豊かな心と深い教養をもつ女性を育成三万有余名の優秀な女性を世に送り出して、あと三年で百周年の記念すべき日を迎えるとしています。本校の校訓、教育方針はこの時代の移ろいを超えていくかといふことが肝要であります。また、これから更に

本校もこの契機を逃してはなりません。生徒一人ひとり自身の独自性を見つけることに対しても、教師がいかに手助けをしていくかということが肝要であります。また、これから更に加速していくグローバル社会を見据え、外国語教育や海外子女教育、外国人生徒への教育、高等学校・大学のおける留学生交流の更なる充実を図らねばなりません。

本校は、大正十年（一九二一年）に創設され、「明く・淨く・直ぐ」の校訓のもと、豊かな心と深い教養をもつ女性を育成三万有余名の優秀な女性を世に送り出して、あと三年で百周年の記念すべき日を迎えるとしています。本校の校訓、教育方針はこの時代の移ろいを超えていくかといふことが肝要であります。また、これから更に

本校も今後より一層の弾力的な教育課程の編成と教育環境づくりに力を入れながら、明淨生一人一人のために、教職員一丸となって本年度の教育活動に取り組んでまいります。照思会の皆様のご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

明淨と私

わたくし

中原栄代

一九五七年～一九六三年、私の二十七才～三十三才の六ヶ年を明淨学院高等学校の化学の教師として在職致しました。今から六十年前、昔、昔の話です。

明淨学院へのきっかけは、産休を取る教師の代行ということでした。その教師が私の親友であつたため、やむなくお受けしました。産休の間と言つても、三ヶ月かな、いや長くても六ヶ月くらいかなと思つていました。

当時、私は幼児一人の母で就職経験の全くない家庭の主婦でした。戦時中、読みたい本を隠されるようにして読んだ女学生です。果たして私に教師がつまるだらうか？ 校長先生と教頭先生に、私の不安な気持ちを素直に伝えました。一週間、私のあいている時間に他の先生方の授業（教科を問わず）を観せていました。ただたい…とお願いしまし

た。しばらく考えておられた、校長先生と教頭先生から「いいでしょう。その旨私から伝えました。」と約束させられました。

今もこのことを思い出す度、越川校長と鈴木教頭の立派さに、授業を観せて下さった諸先生に、唯々感謝の思い一杯です。そのまま六ヶ年、明淨学院に在職致しました。

◎生徒は教師を実によく見ていい加減は決してゆるしていない。

◎授業を大切に、勉強努力する教師に、生徒は尊敬と魅力を感じ信頼している。

六年後、奈良県へ転勤致しました。公立高校二十年、私立高校二十二年、計四十二年の長きにわたる教師生活が、全うできたのは明淨学院での六ヶ年が基であります。わたしも明淨学院とはなつたと思いません。

半世紀以上も明淨学院ではなれていた私です。六ヶ年の在職で担任として持つたのは二クラスです。（今は七十五才と七十二才かな？）どちらも仲の良いクラスでした。まめに世話をかつてくれる生徒が居り、役をつけてくれる生徒が居り、小さなクラス同窓会がずっと続いている。彼女達の生活の多忙な時は、細々と、時間にゆとりが出来るようになつた、ここ二十年來は毎年のように楽しい時間を設定してくれます。そんな折、彼女達は必ず、明淨学院の近況を私に聞かせてくれます。いろいろのニュースです。何処で仕入れてくるのかと聞きたくなる程いろいろです。七十台の大台にいる彼女達にどうして、明淨学院の存在そのものが強い抛りどころであり、町をゆく明淨の生徒一人、一人がとて

も大切なのだと感じさせられます。

二〇一二年、二〇一三年と宮中歌会始に生徒が連続入選をしました。一九五八年に小林紀子さんが入選したこと、校内で行われる和歌披露会、私の覚えていないこと、知らないことが彼女達の中には克明に残されていました。

越川校長と鈴木教頭の立派さに、喜びだけでなく、彼女達の心の誇りだと思いました。彼女達の話の中に居て、私はいま明淨にはいい国語の先生がいらっしゃるのだろうな、一どんな方だろうか一度お会いしてみたい。そんな気持ちが押さえ難くなり、とうとうお会いする機会を得ました。

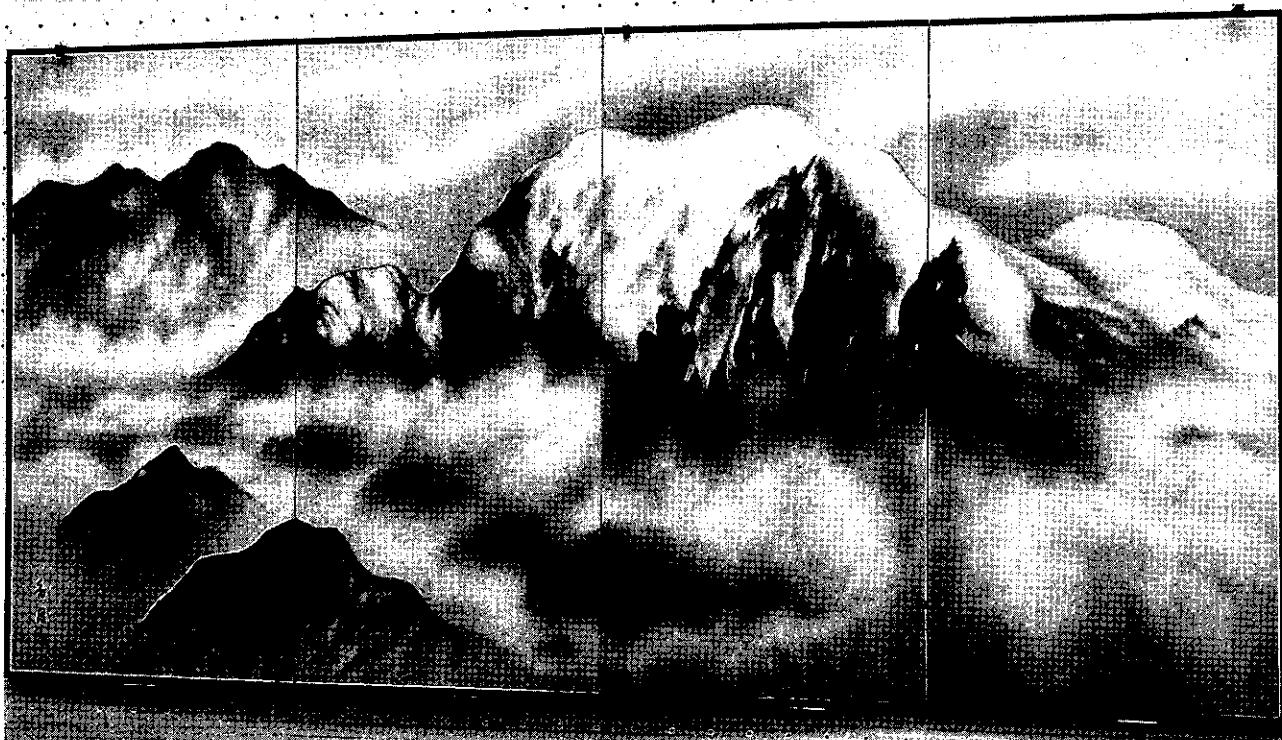
嶋茂代先生です。花こそ句の先生のお話を聞き、短歌を詠む

題です。短歌三首を持参（宿題です）添削していただけました。

明淨の子はいいですよ！」

明淨学院のますますを祈つて止みません。

祝 日本水墨画展 文部科学大臣賞作品



28期生 木村朝子(旧姓仁丹)

〔受賞作品に対する講評〕

四曲屏風に雪を頂いた雄大な岩山を画面一杯に墨調豊かに表現している。

まわりの雪を水墨画独特のぼかしを使って動きの感じが更に山々をきわだたせている。

白と黒の対比が深みを増し女性と思えぬ大胆な構図が素晴らしい選出された。

〔受賞歴〕 木村香月(朝子)

昭和 62 年	佳	賞	賞
昭和 63 年	努	作	賞
平成 6 年	佳	作	賞
平成 7 年	努	賞	賞
平成 8 年	努	賞	賞
平成 10 年	努	賞	賞
平成 11 年	努	賞	賞
平成 12 年	獎	賞	賞
平成 13 年	獎	賞	賞
平成 14 年	獎	賞	賞
平成 15 年	新	賞	賞
平成 18 年	特	別	賞
平成 20 年	青	別	賞
平成 22 年	全	日本美術新聞社	賞
平成 24 年	東	京都知事	賞
平成 26 年	日本	水墨画協会	賞
平成 29 年	文部	科学大臣	賞



☆平成 27 年度 クラブ・個人表彰☆
(平成 27 年 4 月～平成 28 年 3 月)

<クラブ>

ソフトテニス部

大阪高校春季大会(第 7 ブロック予選)

第 5 位 那須・唐島組

第 5 位 坂東・田中組

大阪高校総合体育大会 7 ブロック予選

優 勝 高木・唐島ペア

第 3 位 田中・坂東ペア

第 5 位 清津野・小畠ペア

ソフトボール部

第 13 回大阪高等学校春季大会

第 3 位 明淨学院高等学校

平成 27 年度全国高校総合体育大会大阪府予選会

第 3 位 明淨学院高等学校

バレー部

第 68 回大阪高等学校総合体育大会

南地区 優 勝 明淨学院高等学校

吹奏楽部

第 54 回大阪府吹奏楽コンクール

明淨学院高等学校

第 65 回関西吹奏楽コンクール

明淨学院高等学校

第 25 回マーチングバンド・カラーガード大阪府大会

金 賞 明淨学院高等学校吹奏楽部 Queenstar

第 28 回大阪府マーチングコンテスト

高等学校以上の部 明淨学院高等学校

第 37 回マーチングバンド関西大会

金 賞 明淨学院高等学校吹奏楽部 Queenstar

第 63 回全日本吹奏楽コンクール

銀 賞 明淨学院高等学校吹奏楽部

第 2 回カラーガード関西大会

金 賞 明淨学院高等学校吹奏楽部 Queenstar

第 43 回マーチングバンド全国大会

金 賞 明淨学院高等学校吹奏楽部 Queenstar

水泳部

第 31 回大阪高等学校第三地区水泳合同記録会

女子 50m バタフライ 第 3 位 津田 恵那

女子 100m バタフライ 第 2 位 津田 恵那

女子 50m 背泳ぎ 第 1 位 川口 優香

女子 100m 背泳ぎ 第 2 位 川口 優香

女子 100m 背泳ぎ 第 3 位 岡田 成美

女子 50m 自由形 第 3 位 塩田 桃花

女子 50m 自由形 第 6 位 岡田 成美

女子 100m 自由形 第 2 位 塩田 桃花

陸上部

第 62 回大阪私立高等学校総合体育大会

女子高校走り幅跳び 第 8 位 武藤 桂穂

バスケットボール部

大阪高等学校バスケットボール選手権大会

L ブロック 第 1 位 明淨学院高等学校

第 62 回大阪私立高等学校総合体育大会

第 5 位 明淨学院高等学校

第 63 回大阪高等学校バスケットボール新人大会

東地区大会 第 2 位

第 63 回大阪高等学校バスケットボール新人大会 第 5 位

スキーパーク

宮様ジュニア・スノーボード競技大会

高校生組ハーフパイプ女子 第 5 位 南 清乃

FIS SNOWBOARD JAPAN CUP 2016

FIS 公認クラスハーフパイプ女子 第 7 位 南 清乃

スノーボード競技 FIS 女子ハーフパイプ 第 2 位 南 清乃

JOC ジュニアオリンピック兼

2016 全日本ジュニアスキー選手権大会

スノーボードハーフパイプ 第 5 位 南 清乃

<個人・学校表彰>

・第 58 回全国硬筆展覧会

平 真琴 (1 年)

久山 七菜 (1 年)

金子 葵 (1 年)

前田 紗美 (1 年)

岩本 彩花 (1 年)

小牧みひろ (1 年)

吉田 実由 (1 年)

山根亜梨沙 (2 年)

金山あすき (1 年)

上村 未夢 (3 年)

近藤 碧衣 (1 年)

田中 望愛 (1 年)

田村 茉子 (2 年)

松崎 遙 (1 年)

原 加奈子 (1 年)

成瀬 亜美 (3 年)

福山 桜 (2 年)

早水 美侑 (1 年)

明淨学院高等学校

書道栄誉賞

準大賞

書道大賞

審査委員長賞

・第 59 回全国書きぞめ作品展覧会

全日本青少年書道振興協会賞

全日本青少年書道振興協会賞

日本書道教育連盟賞

日本書道教育連盟賞

日本書道藝術連盟協議会賞

全日本藝術振興学会賞

大阪市 P T A 協議会賞

大阪府 P T A 協議会賞

大阪府 P T A 協議会賞

大阪市教育委員会委員長賞

大阪市長賞

大阪府知事賞

金山あすき (1 年)

村田 楓香 (1 年)

吉田 実由 (1 年)

奥野 桂子 (2 年)

福山 桜 (2 年)

岑山 桃加 (1 年)

高木 悠衣 (1 年)

阪口 紗海 (2 年)

山本 萌結 (1 年)

久ノ 純奈 (3 年)

金子 葵 (1 年)

山中あかり (1 年)

明淨学院高等学校

・大阪府私立学校書道教育研究会賞

築山 史歩 (3 年)

・第 6 回大仏書道展

入 選

築山 史歩 (3 年)

入 選

太平沙也香 (1 年)

入 選

濱口 真子 (3 年)

・第 26 回伊藤園おーいお茶 新俳句大賞

佳作特別賞

山崎 桃佳 (2 年)

・「第 15 回高校生フォーラム 17 歳からのメッセージ」

大阪経済大学主催

銀 賞

中条 歩 (3 年)

☆ 平成 28 年度 クラブ・個人表彰 ☆

(平成 28 年 4 月～平成 29 年 3 月)

<クラブ>

ソフトテニス部

大阪高校春季大会

女子団体戦予選リーグ

第 7 ブロック予選

第 1 位 明浄学院高等学校

第 5 位 小畠・清津野組

第 7 位 唐島・高木組

第 8 位 田中・坂東組

大阪高校総合体育大会

第 7 ブロック予選

第 5 位 山西・石田ペア

第 63 回大阪私立高等学校総合体育大会

団体の部女子

第 5 位 明浄学院高等学校

バレー・ボール部

大阪高等学校体育連盟バレー・ボール専門部

平成 28 年度本専門部優秀選手 喜入綾子・小西未紗

吹奏楽部

第 38 回マーチングバンド関西大会

金賞 明浄学院高等学校吹奏楽部 Queenstar

第 3 回カラーガード関西大会

金賞 明浄学院高等学校吹奏楽部 Queenstar

第 66 回関西吹奏楽コンクール

金賞 明浄学院高等学校

第 44 回マーチングバンド全国大会

金賞・最優秀賞・フォトクリエイティステージライフ賞

明浄学院高等学校吹奏楽部 Queenstar

水泳部

第 71 回大阪高等学校総合体育大会

シンクロの部 第 3 位 宮崎 優

第 32 回大阪高等学校第 3 地区水泳合同記録会

女子 50m 背泳ぎ 2・3 年生の部

第 1 位 川口 優香

第 4 位 光久 未央

女子 100m 背泳ぎ 2・3 年生の部

第 1 位 川口 優香

バスケットボール部

第 69 回大阪高等学校バスケットボール選手権大会

優秀選手賞 米原 未波

女子の部 第 3 位 明浄学院高等学校

第 64 回大阪高等学校バスケットボール新人大会 東地区大会 第 1 位

第 64 回大阪高等学校バスケットボール新人大会 第 3 位

ダンス部

DANCE BRIDGE 2016

審査員特別賞 明浄学院高等学校

い。
照思会までお知らせ下さい。
ない人をご存知の方は是非
だ照思会へ届け出であります。
お友達で住所を変更し、ま
数多く戻つてきています。

会員の皆様の案内状が、
ました。いかがでしたか。
樂しんで頂こうと思い、マ
ジックショーを企画いたし
ました。いかがでしたか。

△編集後記△

<個人・学校表彰>

・第 60 回全国書きぞめ作品展覧会

大阪市長賞

大阪市教育委員会教育長賞

書道推進委員長賞

全日本芸術振興学会賞

福川 愛美(1年)

野口 花生(1年)

田上 胡桃(1年)

福山 桜(3年)、森川奈都美(1年)

鍋島 香娘(1年)、金澤 咲季(1年)

大門 由紀(1年)

日本書道芸術連盟協議会賞

河野 尚子(3年)、槌谷乃梨香(3年)

薦田 らん(2年)

日本書道教育連盟賞

中澤 七海(3年)、山本 萌結(2年)

日田 佳歩(1年)、磯部 育実(1年)

全日本青少年書道振興協会賞

田中 那奈(2年)、岩崎 真琴(1年)

大阪市 P T A 協議会賞

供田 結希(3年)、仲森 美空(1年)

大阪府議会議長賞 阪口 紗海(3年)

大阪府 P T A 協議会賞 奥野 桂子(3年)

日本郵便株式会社賞 明浄学院高等学校

・第 59 回全国硬筆作品展覧会

大阪府 P T A 協議会賞 高木 悠衣(2年)

日本書道教育連盟賞

森川奈都美(1年)、仲森 美空(1年)

磯部 育実(1年)、池添 茜(1年)

全日本芸術振興学会賞

福元 麻那(3年)、福山さくら(3年)

山本 聖奈(1年)、大杉 実夢(1年)

全日本青少年書道振興協会賞

奥野 桂子(3年)、川村 彩希(2年)

田上 胡桃(1年)、成願 幸優(1年)

森 花音(1年)

日本書道芸術連盟協議会賞

供田 結希(3年)、日田 佳歩(1年)

小島さくら(1年)、田中 柚衣(1年)

大阪市 P T A 協議会賞 福川 愛美(1年)

・同志社女子大学主催「SEITO 百人一首短歌コンクール」

入選 松尾 梨恵(1年)

・伊藤園主催「第 27 回おーいお茶新俳句大賞」

佳作 楊井 咲穂(2年)

佳作 國井ひなた(2年)

佳作 平 真琴(2年)

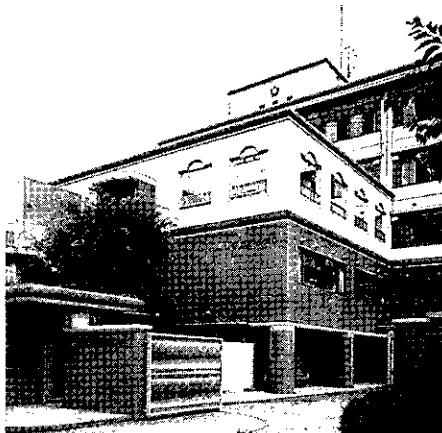
佳作 溝川加奈子(2年)

・国税庁主催 平成 28 年度「税に関する高校生の作文」

阿倍野地区租税教育推進協議会賞 濑島 奏音(2年)

・第 3 回高校生スイーツコンテスト「2016 青山」

銀賞 宮崎久美子、吉崎千絵(2年)



実りの秋、味覚の秋の訪れます。炎暑だった夏も終わり、清々しい季節が到来しました。

照思会の皆様におかれましてはご健勝にてお過ごしのことと拝察申し上げます。照思会は、大正十五年三月、第一期生の卒業と同時に創設されました。明治天皇の御歌「照るにつけ曇る上はいかに」とから、初代吉澤校長先生が命名してくださいました。平成二十七年、卒業生の数は三万六千名を超みました。歴史を振り返りますと、昭和十年二月、冷泉家指導のもと第一回和歌披講会が開催されました。昭和十四年、第二次世界大戦が勃発。昭和十九年、勤労



照思会会长 福本幸子

平成二十七年度 総会あいさつ



第 36 号

平成 27 年 10 月 11 日発行
発行所
明淨学院高等学校照思会
大阪市阿倍野区文の里3丁目15番7号
電話 大阪 06(6623) 0016

動員、農作業で、授業はほとんど行われず。昭和二十年の五月から終戦までは、爆弾に火薬を詰めるとても危険な作業にまだ少女だった当時の先輩方が携われました。過酷な時代を生きられたのです。終戦から六十三年経つた平成二十年八月十五日に石碑「非戦の誓い」の除幕式が坂村静子様は、「戦争のまつた中でも、明浄には楽しい想い出が一杯詰まっています。六年経つた今多くの友達と旧交を温めています。」と照思会

樂部創部。吹奏樂部の実力は現在全国トップレベル! 毎年輝かしい賞を受賞しています。明浄の生徒は戦時中も凜と生き、脈々と文武両道の校風を受け継ぎ、発展させてきました。これもひとえに歴代の校長先生をはじめ、諸先生方、事務所の皆様、明浄に携わるすべての方のご指導の賜物と感謝致します。誠に有難うございます。

さて、今年度の総会は大阪城を一望できるホテルで開催致しました。開校九年目の昭和四年にその危機は訪れました。八十年史を引用すると「世界大恐慌の嵐勃発、十五年九月には日独伊三国同盟が成立し日本は戦争への道をひた走っていました。」中略

昭和二十年、戦禍は著しく、三月十四日の大阪大空襲では美章園駅付近に爆撃を受け、体育館に死者が運び込まれた。第二回卒業式は警報の合間に挙行された。卒業生の大半は戦災あるいは勤労動員で出席できず、アルバムも残っていない」。

八十年周年記念誌にお言葉をお寄せくださいました。先輩方は戦争のなかでも友情を育んでございました。感性豊かに青春時代を過ごされました。昭和二十二年十一月、第一回芭蕉忌開催。昭和二十四年一月、宮中歌会始めに入選。以後、平成二十五年までに見事六回入選。昭和三十二年十一月、第一回家隆忌を夕陽丘家隆塚前で開催。昭和三十九年、三号館竣工。在籍数三千百名(五十三クラス)生徒数急増。昭和四十年、吹奏樂部創部。吹奏樂部の実力は現在全国トップレベル! 每年輝かしい賞を受賞しています。明浄の生徒は戦時中も凜と生き、脈々と文武両道の校風を受け継ぎ、発展させてきました。これもひとえに歴代の校長先生をはじめ、諸先生方、事務所の皆様、明浄に携わるすべての方のご指導の賜物と感謝致します。誠に有難うございます。

太郎氏は、昭和六年から本校経當に当たられた。「後略」。安寧も東の間、続く危機は戦争への道である。八十年史によると、「昭和十四年九月日中戦争勃発、十五年九月には日独伊三国同盟が成立し日本は戦争への道をひた走っていました。」中略

学校長 瑞東東治

創立一〇〇年に向けて



そして、元宝塚歌劇団ご出身の桜井恵美子様(南海わたり様)と四二期生の大飼加代様(旧姓大石様)のショーをお楽しみください。年齢は違つても同じやかで、楽しいひと時を共に過ごします。どうぞよろしくお願ひ申上げます。

今後とも会員の皆様のご指導とご鞭撻を賜りながら照思会を盛り立てていきたいと思つておられます。どうぞよろしくお願ひ申上げます。

ごし、次回もまたお会いしましよう!

第一〇〇期生を迎えるまであと五年。

本法人・本校の現状はどうで
しょうか。正直なところを申し
上げると、安閑とはしていられ
ないのが現状です。

大學に無謀な新學部を設置し、一桁の入学生という体たらく。法人總体としては、内外環境を勘案すれば經營状況は苦戦を強いられてゐるというのが現状で

学校経営の要諦は生徒確保以外の何物でもありません。わたくしが七年前に学校長職を引き受けたときの生徒総数は五百十九名。昨年度には六百四十四名まで生徒数を増やし、収支もトントンというところまでこぎ着けました。

素晴らしい伝統と生徒たち。
何が何でも「絶滅危惧種」と
言われるほど頑なに伝統を重ん
じ、それに応えてくれる生徒と
保護者のみなさんの期待に、職
員一丸となつて答えなくてはな
りません。

そのためには同窓会である
「照思会」の物心両面でのご支
援が不可欠であります。

周年事業を担当しました。
同事業は寄付を募るための名簿の整備・発行、記念事業の決定、同式典の段取りです。
この紙面をお借りして記念事業をご提案する事をお許し頂きたいと思います。
それは校舎の耐震工事であります。新たなる第二世紀目を迎えるには必須要件でありますし、国からの命令でもあります。

旧校舎の思い出／そしてこれから



教頭向阪芳弘

事情ご斟酌のうえご協力の程を衷心よりお願ひ申し上げます。本より微力ではありますが、高等学校を創立の地で存続さるため全力で取り組む所存です。蛇足ではありますが、企業で言うところの定款のことを、私立学校法では「寄附行為」といいます。

盛会をお祈りし、ご挨拶いたします。

してこれから

私が初めて教壇に立った頃
建設当時大正時代の建築設計家 増田清氏による大変モダンな鉄筋三階建ての校舎の外装は、長い年の風雨にさらされて色あせ、内装は鶯張りの廊下と皮肉を言われていました。しかし、漆喰の壁・天井と木製の扉・床とのコンビネーションは、所々傷みが出ていたとはいえ、まだまだ当時のままの風格をしっかりと保っていました。本館は、シンメトリックなアーチ型駐車スロープを持つ正面玄関を中心にして東西に延び、玄関を入れれば右手には応接室、校務員室、給品部、保健室、音楽室、左手には事務室、校長室、職員室が並んでいました。本館と運動場の間には四季折々の木々が植わった中庭があり、その間にひつそりと立つ一本の灯籠が今も印象に残っています。運動場に向かつて池の右手前にある銀杏の木の下は、生徒たちの集合場所としてよく利用されていました。職員室のある廊下の先は西門への出口となっていましたが、この手前を右に折れると、女子職員トイレ、会議室、作法室のある西

館となり、その先は旧体育館へと繋がっていました。一方、正面玄関から外に出ると、向かいには文房具店、薬局、お米屋さん、老夫婦が営む昔ながらの駄菓子屋さんが西に向かって軒を連ね、店の前で遊ぶ子供たちの元気な声が、放課後毎日にように、一階の職員室にまで聞こえてきたのを覚えています。さらに思いを馳せれば、まだまだ活気のあった頃の明浄商店街や、チンチン電車南海平野線の踏切と文の里駅など、学校周辺の町並みと共に、当時の生徒たちや諸先生方の声と顔、校舎の油引きの床や梅雨（つゆ）時の湿つた漆喰の壁の匂いなどが、現実のもののように蘇ります。

会報思照会

『水墨画に魅せられて』

二十八期生 木村朝子(旧姓仁丹)

昭和三十八年を皮切りに主人の転勤の為一年毎の異動で、日本全国の武者修行をしました。昭和五十三年より青森県の三沢市にて、日本とアメリカとの交流を深める為に春は観桜会、観藤祭り、お雛様の雛壇飾りにちらし寿し、夏は盆踊り、等々日本文化の行事を企画し開催しました。いろいろな行事をしていながら歩いていた書道道具のデモンストレーションをする事になりました。身近に見たり触れたり使つたりして頂いた後、私が実演をしましたらとても喜んで下さいました。日本伝統文化の素晴らしさに驚かれワンドフルの連発でした。その際筆や墨、硯石、和紙、一千年もの長い年月脈々と流れている伝統の尊さを再認識致しました。外国人がこんなに褒めて下さるのだ

からもっと大切に活用しなくては勿体ないと自覺め、一生筆を持ち続けようと決心しました。東京へ来る様になつてから、小さな葉書きの片隅にでも少し可愛いい絵でも描かれば良いと思いつき水墨画を始めました。昭和五十五年より始めて今年で三十有余年になります。始めは十号一三十号一五十号そして二曲の屏風一三曲一四曲の屏風と手掛けた所では雨はやんできました。そこで一旦下車し他の人達は一時中通り海拔三千メートル位の所では雨はやんできました。そこでは雨はやんできました。そこで間歩いて行つた所に有名なトルーチメデバレーの絶景が見られるので行かれましたが、私は

休む事なく続けられた事にとても感謝しています。作品を制作するには家族の協力、理解、健 康面、何と云つても集中力、持続力、精神力が伴わなければなりません。作品の最後には雅号を入りますが、二文字でも午前中何度も何度も練習しやつと書き落款を押して始めて完成します。その瞬間から胸が一杯になりました。このイ

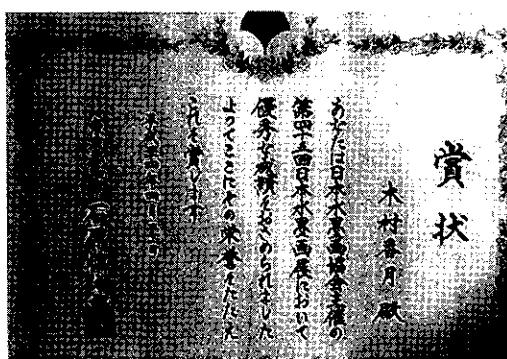
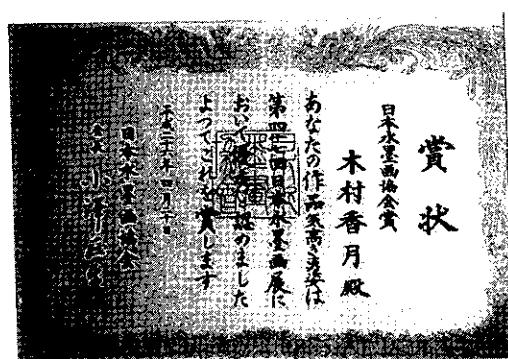
なり五分、十分と時間が経つ毎に涙がとめどなく流れてしまい云い共に喜び合います。この達成感と感動は傘寿を迎えた私に取つて最高の贈物を頂いた事に感謝の気持ちで一杯になります。三ヶ月間没頭した月日から開放された後、次の年の題材を求める為に、そして癒しの旅にと海外へ飛び立ちます。北イタリアのドロミテ地方へ出掛けた時、夜半に雨が降っていたのが翌朝まだやまずバスは出発込んだん山へ登つて行く途中雲の中大賞の受賞式が開催されました。私は生まれ育った大阪の月日より現在東京で生活している年月

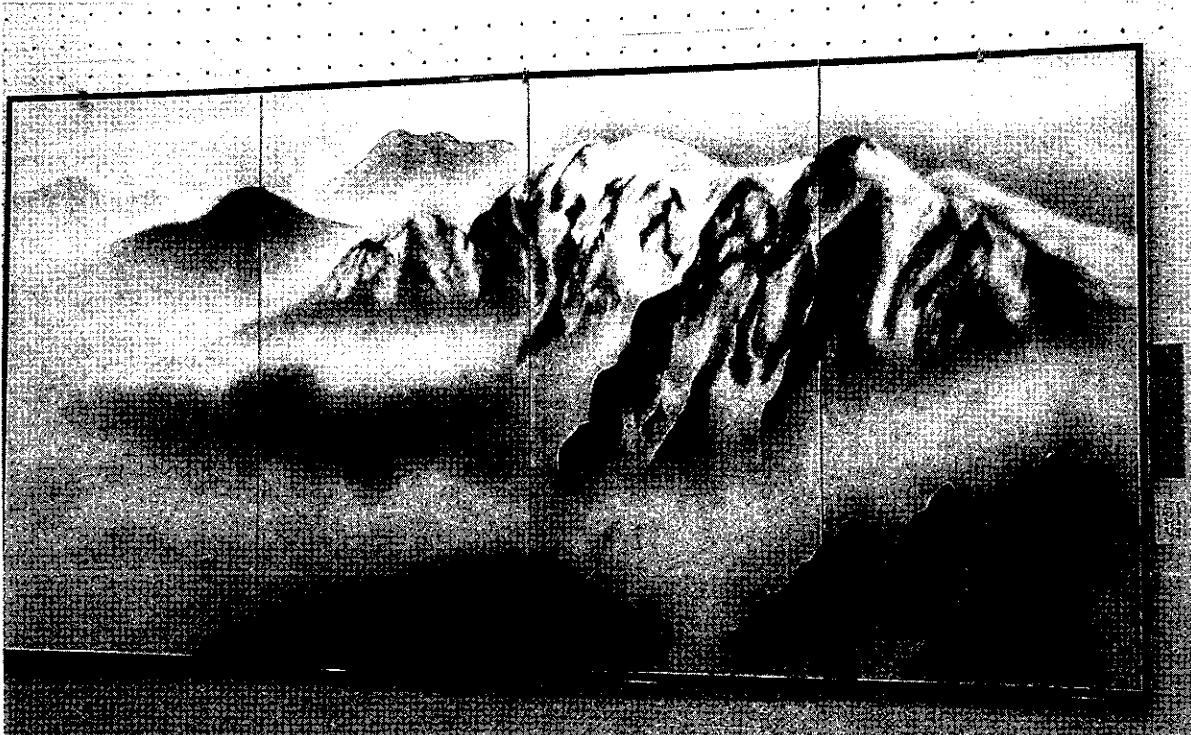
の方が多くなりました。いろいろな人達とのお交際する中で関西出身である事をとても誇りに思っています。我母校の教育方針、それは書や和歌を嗜み、伊豆の踊子の舞を観たり、追

い羽大会と称して羽子板の羽で他校との競書会に臨んだり、追

いトミントン風の大会等々、最大の行事は毎年宮内庁に提出する詠進歌の和歌作り、数々の文化的行事は他校に劣る事なく人間に誇りに話されるのがとても嬉しいです。今現在ある私に脈々と流れている母校の精神は宝と思い、素晴らしい内容であります。あなたのお名前は木村香月殿、あなたの作品は日本水墨画金賞、第四回日本水墨画展、あなたの筆は日本水墨画の上手いと賞えています。終生この

気持は持ち続ける事でしょう。この思いに感謝しつゝ将来を心豊かに送つて行きたいと思つております。

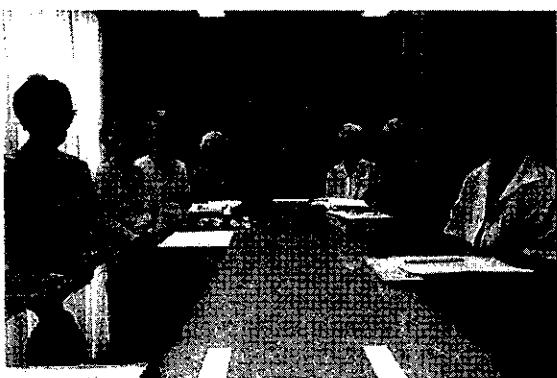




「花こそ句へ」和歌の会 第一集歌集

照思会会长 福本幸子

平成二十七年四月発行



母校で和歌の教鞭を執つておられる嶋茂代先生のご指導のもと、照思会室で和歌を詠む会を開催しています。会の名前「花こそ句へ」は校歌の歌詞から嶋先生が名づけてくださいました。メンバーは現在九名、先生の楽しく有意義な講義のあと、私達の詠んだ歌を添削して頂いています。それぞれの歌には個性があり作者名を伏せてても誰が詠んだか分かるようになります。嶋先生のお言葉「美しい

ことを、より美しい言葉で、一層快いしらべで歌を詠む」を心がけていますが、なかなか思うようには作ることができません。

この春に、今までに詠んだ歌の中から、各自十首選んで歌集を作りました。はずかしながら一部披露させていただきます。

花吹雪舞い散る中でむすび喰む思い出深し万博の庭

十八期生 F・Y

ざわざわと木々をゆらして遊んでる風の又さんごきげんさんで

三十五期生 M・O

そぼけむる刈田の向うに実る柿白秋の雨冬を誘ひ

三十六期生 T・M

さヶ井の居醒の清水梅花藻に心洗わる静かな旅路

四十一期生 M・I

ぬいぐるみ握りたるまま寝の子われにつぶやく「そーっと静かに」

四十二期生 S・F

山茶花が我家の庭に濃く紅く沈んだ心に灯がつく

四十一期生 H・K

早乙女の紅き櫻に太陽がさして御田植神事の立ち揃ふ苗

四十二期生 S・F

忍冬の香に立ち去りがたくよりむけば月のぼりきぬ眉山の夕景

四十二期生 T・Y

人散りし部屋に遠雷近くなり私一人一冊の本

S・N

☆平成 25 年度 クラブ・個人表彰☆

(平成 24 年 4 月～平成 25 年 3 月)

〈クラブ〉	
水泳部	
・第 30 回大阪高等学校第三地区水泳合同記録会	
女子総合	第 2 位
女子 200m リレー	第 1 位 (塙田・川口・津田・岡田)
女子 200m メドレーリレー	第 3 位 (岡田・山崎・津田・塙田)
女子 100m 平泳ぎ 2・3 年生の部	第 2 位 山崎 有紗
女子 100m 平泳ぎ 2・3 年生の部	第 6 位 吉川 葵優
女子 100m 自由形 2・3 年生の部	第 1 位 塙田 桃花
女子 50m 自由形 2・3 年生の部	第 1 位 塙田 桃花
女子 100m 背泳ぎ 2・3 年生の部	第 4 位 岡田 成美
女子 50m バタフライ 1 年生の部	第 1 位 津田 怜那
女子 100m バタフライ 1 年生の部	第 1 位 津田 怜那
女子 200m 個人メドレー 1 年生の部	第 2 位 川口 優香
女子 100m 背泳ぎ 1 年生の部	第 2 位 川口 優香
吹奏楽部	
・第 26 回全日本高等学校選抜吹奏楽大会	優秀賞 明淨学院高等学校
・第 64 回関西吹奏楽コンクール	金賞 (関西代表)
・第 27 回大阪府マーチングコンテスト	
高等学校以上の部 Open Entry	優秀賞
・第 62 回全日本吹奏楽コンクール 高校の部	銀賞
・第 24 回マーチングバンド・カラーガード大阪府大会 高等学校の部 コンテスト部門	金賞
・第 1 回カラーガード関西大会 高等学校の部 カラーガード部門	金賞
・第 42 回マーチングバンド全国大会 マーチング部門高等学校の部 大編成	銀賞
・大阪府高等学校芸術文化連盟	芸術文化賞
スキーパーク	
・第 65 回大阪高等学校総合体育大会 女子 SL の部	第 2 位 石神 歩佳
女子 GSL の部	第 2 位 石神 歩佳
女子総合の部	第 5 位 明淨学院高等学校
・大阪府民体育大会 ジャイアントスラローム 少年女子	第 2 位 石神 歩佳
・宮様ジュニア・スノーボード競技大会 高校生組 女子	第 3 位 南 清乃
・スノーボードジャパンカップ 2015 札幌ばんけい大会 FIS 公認クラス HP 女子	第 5 位 南 清乃

- ・第 70 回国民体育大会 冬季大会 スノーボードハーフパイプ競技 少年組女子 第 3 位 南 清乃
- ・JOC ジュニアオリンピックカップ兼 2015 全日本ジュニアスキー選手権大会 スノーボード ハーフパイプ 女子総合 第 4 位 南 清乃
- ・第 21 回全日本スキー選手権大会 スノーボード ハーフパイプ 女子 第 4 位 南 清乃
- ・大阪高校春季大会 女子団体戦の部 第 5 位
- ・大阪総合体育大会 第 7 ブロック予選 第 5 位 那須・田中組
- ・大阪高校新人大会 第 7 ブロック予選 第 5 位 坂東・那須組

バスケットボール部

- ・第 69 回大阪高等学校総合体育大会 バスケットボール女子の部 東地区 C ブロック 優勝
- ・第 62 回大阪高等学校バスケットボール新人大会 バスケットボール女子の部 東地区 第 3 位
- ・バレーボール部

バレーボール部

- ・バレーボール 春季大会第一次予選 2 部 C ゾーン 優勝
- ・平成 26 年度大阪高等学校体育連盟バレーボール専門部 優秀選手 熱田 瑞希
優秀選手 宮本 千聖

書道部

- ・第 5 回奈良二十一世紀フォーラム書道展 入賞 築山 史歩 (2-4)
- 入賞 吉田 彩乃 (3-2)
- 入賞 山口 著花 (3-7)

〈個人・学校表彰〉

- ・第 25 回伊藤園お~いお茶新俳句大賞 佳作 安川 美穂 (2-2)
佳作 伊澤 香穂 (2-3)
佳作 吉川 茉優 (2-5)
- ・第 57 回全国硬筆作品展覧会 日本書道教育連盟賞 武田 理沙 (1-7)
全日本青少年書道振興協議会賞 上村 未夢 (2-4)
大阪市 PTA 協議会賞 河野 尚子 (1-5)
日本書道芸術連盟協議会賞 小坂 瑠雪 (2-3)
日本書道芸術連盟協議会賞 谷村 祐美 (3-3)
大阪府 PTA 協議会賞 寺尾 桃子 (3-1)
大阪府 PTA 協議会賞 小川 瑞瑠 (3-4)
全日本芸術振興学会賞 加藤 未杜 (1-6)
全日本芸術振興学会賞 長瀬 千夏 (3-2)
日本書写教育研究会審査委員長賞 海野 芙美夏 (1-4)
大阪市教育委員会委員長賞 榎本 咲 (3-6)
大阪府教育委員会賞 吉川 里奈 (3-5)
会長賞 団体
- ・第 12 回全国高校生付け句コンクール 入選 優 奥野 瑞貴 (1-2)
入選 優 高比良萌々 (1-7)
入選 杏実 松浦 杏実 (1-2)
入選 綾乃 野口 綾乃 (1-6)
- ・税に関する高校生の作文 松延美沙樹 (1-7)
- ・第 9 回赤十字・いのちと献血俳句コンテスト 高等学校の部 大阪府 団体賞
- ・第 58 回全国書きぞめ作品展覧会 河野 尚子 (1-5)
大阪市 PTA 協議会賞 築山 史歩 (2-4)
全日本青少年書道振興協議会賞 供田 結希 (1-6)
日本書道教育連盟賞 鮎谷乃梨香 (1-4)
日本書道芸術連盟協議会賞 奥田 真由 (1-7)
全日本芸術振興学会賞 島田 実保 (3-4)
全日本芸術振興学会賞 川端 恵 (3-1)
大阪府 PTA 協議会賞 阪上 裕花 (3-6)
大阪府 PTA 協議会賞 田畠 真生 (3-2)
大阪市教育委員会委員長賞 小坂 瑠雪 (2-3)
大阪府教育委員会賞 片岡可奈子 (3-3)
会長賞 今田佳奈実 (3-5)
大阪市長賞 梅村ほのか (3-5)
団体・高等学校の部 文部科学大臣賞 団体
- ・第 26 回読書感想画大阪府コンクール 優良賞 中田 綾奈 (2-5)
優良賞 今田佳奈実 (3-5)
- ・あなたを想う恋のうた募集 学校奨励賞

△編集後記△

今年度の総会は、同窓生によるご講演とシャンソンで、楽しいひと時を過ごそうと計画致しました。

楽しんで頂けましたでしょうか。

会員の皆様に総会の案内状を発送しましたが、その内、数多くの消息不明

や住所変更などで戻ってきていました。お友達で住所を変更し、まだ照思会へ届け出でられない人をご存知の方は是非会までお知らせ下さい。



昭 級 會 會 報

平成二十五年度 総会あいさつ



照思會會長
福本幸子

さて、一年ぶりの総会会場は母校です。卒業した時期は違つても、懐かしい学び舎への感慨は、等しいものと存じます。母校での開催を勧めてくださつた瑠東校長先生のご厚意に感謝申上げます。

また、渡邊教頭先生、諸先生方、事務所の皆様にも、日頃から、何かと照思会にお力添えいただきまして、誠に有難く厚くお礼申し上げます。

紅葉の美しい季節になりまし
た。
照思会の皆様におかれまして
はご健勝にてお過ごしのことと
拝察申しあげます。今年の夏は
異常気象で、猛暑と豪雨が日本
各地を襲いました。体調をくず
された方も多いとのではと案
じております。

をご案内する「ツアーや」もご用意致しました。年齢は違つても同じ学び舎で過ごした姉妹たちが、一齊に女学生にタイムスリップするのも良いものではありますか。お友達とご一緒に参加された方も、おひとりで参加してくださつた方も、皆、仲良く、笑顔で、ひとときを過ごし、次回「またお会いしましょう!」と心を残したいものであります。季節はこれから寒さに向います。皆様、くれぐれもお身体

今年度の総会は、まず、明浄が誇る全国トップレベルの吹奏楽部の演奏をたっぷりお楽しみいただきます。続きまして「過去の同窓会」「明浄の歴史・伝統」そして「現在の学校」と様々 な明浄学院をスライドでご覧いただきます。ご希望の方に校内

員も「宮中歌会始」に同窓生として今年度も和歌を（お題：静）詠進致しました。

皆様もご存じと思いますが、明淨の生徒が「宮中歌会始め」に、昨年に引き続き二年連続入選の快挙!!を成し遂げました。

平成 25 年 11 月 3 日 発行
発行所
明淨学院高等学校照思会
大阪市阿倍野区文の里3丁目15番7号
電話 大阪 06(6623)0016

をおいとしください。そして元氣でお過ごしくださいませ。

照思会総会開催おめでとうございます

學校長璫 東東治

A black and white portrait of Dr. J. W. D. G. van der Watt, a man with glasses and a suit.

本年は大正十五年に明淨高等女学校一期生卒業を期に、同窓会である「照思会」が組織されより爾来八十八年目、米寿の記念すべき年に当たります。

での照思会総会の開催であります。

誠におめでとうございます。
職員一同心からお祝いを申し上げます。

大正 昭和 そして平成へ
と激動の時代を生き抜いて、
九十三年の歴史を誇る「いま」

があるのも、照思会会員である先輩諸姉の御尽力の賜であると、紙面をお借りいたしまして、

御礼を申し述べます。
本校教育活動は建学の精神である「明るく争く直ぐ」の教えを

遵守し、文武両道、世に出てためになる女性の育成を日途に、

躰・和心・グローバルをその行動指針として、愚直且つ進取の気性を以って、女子伝統教育に

一層の磨きをかけるべく、一同
励んでいるところであります。

加えて韓国・密陽市の密陽女子高等学校との相互交流提携も二年目を迎え、国際交流も大きいにその実を取つて いるところであります。

グローバル教育の面でも豪州
シドニーのマリスト女子高等学
校相互留学を皮切りに、台湾・
彰化高級中学で開催される、世
界の高校生リーダー会議に本年
もわが国を代表して五回目の招
請をいたしました。

じ時間に立ち止まり空を見上げた「金環日食」が披講されました。これも八十年に亘りわが国を誇るべき伝統文化である和歌を嘗々と取組んできた成果であると、先達の先見の明に感謝をする次第であります。

道に乗つてしまえば、当たり前のように思えますが、レールを曳くための関係各位の涙ぐましい努力には、頭の下がる思いが致します。

伝承と伝統



伝承…全く同じ事を正確に伝えていくこと。

伝統…基本的な考え方を変えず、時代にあつたものへ変化していくこと

平成二十五年度照思会総会の開催、心からお慶び申し上げます。本校も今年で、創立九十三年目を迎え、いよいよ一〇〇周年へのカウントダウンが始まりました。この明浄の長い歴史を刻んで参ることができましたのも、卒業生、皆様方の日頃のご声援、ご支援のお陰であると強く感じております。ここに厚く感謝申し上げます。

さて、本校には、制服を始めとして、創立以来、まったく変わらないものが、いくつもあります。その中の一つとして、伝

あと七年で百周年の記念すべき年を迎えます。

本日は久しぶりの母校を御堪能いただき、記念事業の構想を共有していただければこれに勝る幸甚はございません。

教頭 渡邊 雅彦

校行事係の職員は、その順序、配置など、毎年、記録写真を撮つて正確に九〇年余り前の昔の形や諸作法を引き継ぐように気を遣っています。お茶碗の置き場所一つでも変わつてはいけないのです。これが、歴史の伝承ではないでしょうか。

反対に、時代とともに変化してきた行事もあります。修学旅行、文化祭、体育大会などは、

内容や種目などが変わつて、現在も伝統的行事として受け継いで行われています。今は行われていない行事としては、登山、耐寒訓練、大阪の海岸（諏訪ノ森など）で行われていた水泳訓練、戦争中の強歩、軍事訓練などは、時代とともに終わりを告げました。しかし、前段の修学

旅行などでは、創立当初の身延山、富士登山への卒業旅行を始めとして、その後（七〇年前）に行われた、当時の朝鮮・満州への旅行などは、現在のオーストラリア修学旅行の先駆けとなるもので、今の明浄が目指す、「自立心を持った女性の育成」

「国際感覚を備えた知性豊かな女性の育成」に、まさに繋がる伝統といえます。

また、文化祭、体育大会などを見せるあの生徒たちの底抜けの明るさも、いつの時代も変わらない明浄生の校風であります。現在の子供たちも、間違いなく、校訓「明・淨・直」を引き継いでいます。

「学校は厳しかったけど、先生も生徒も明るかった、学校が楽しかった」卒業生の皆さんから、よく聞く言葉です。その言葉からは目に見えない学校の校風、伝統を感じ取ることがで

きます。このように時代とともに変わるものがあつても、基本は変わらない、これが本当の伝統ではないでしょうか。

今後も学校として、卒業生の皆様方にとつて、明浄学院が誇りであり続けられますよう、努力して参りたいと思つております。引き続き、ご指導、ご鞭撻、宜しくお願ひ申し上げます。

「楽しく短歌を詠む会」に参加して

照思会副会長 吉岡 多喜子
(四十二期生)

藤園・信貴山・奈良公園・大山

幡宮・大山崎へと出向き、新緑、紅葉を愛で、四季それぞれの美しさに歌心を高めようと気持ちだけは努力しています。

母校で教鞭を執つて居られる嶋茂代先生を講師にお招きし平成十九年七月にスタートした和歌の会はこの秋で第四十五回目

をを迎えます。参加人数は延べ三五〇人を超えて、その活動の拠点は学校内「照思会室」に置いています。

毎年、九月には「宮中歌会始」への詠進歌を、今年は一月に「伊藤園・おーい、お茶新俳句」へ投稿の為、始めて俳句にも挑戦いたしました。

未だ、宮中からお声は掛かりませんが、「伊藤園、おーい、お茶新俳句」には入賞することが出来、偏に嶋先生のご指導のおかげと大変喜んでいます。

気候の良い季節は「石清水八



大山崎の聴竹居にて「短歌の会」

大阪四日新聞 2011年(平成23年)12月26日 月曜日 地域総合 (20)

明淨学院高2年
伊藤可奈さん

「歌会始の儀」入選者に

夏休み 祖父母と手振り合う別れ詠む
岸辺から手を振る君に振りかへす
けれど夕日で君がみえない

平成二十四年卒業 伊藤可奈

歌会始入選歌 ◯◎◎◎◎◎

平成二十四年 お題「岸」

岸辺から手を振る君に振りかへす
けれど夕日で君がみえない

2013年1月10日 毎日新聞

金環日食時の感動詠む

私立明淨学院高2年
瀬利由貴乃さん

「歌会始の儀」入選

人々が同じ時間に立ち止まり
空を見上げた金環日食

二年瀬利由貴乃

平成二十五年 お題「立」

人々が同じ時間に立ち止まり
空を見上げた金環日食

大阪四日新聞

2013年(平成25年)6月21日 金曜日 (20)

厳かに「家隆已」

明淨学院高生ら和歌奉納

・天王寺

鎌倉時代の歌人として知られる藤原家隆の功績と遺徳をしのぶ「家隆忌」が15日、天王寺区夕陽丘町の家隆塚で行われた。明淨

学院高校(阿倍野区文環として新古今和歌集の撰者として知られる藤原家隆の功績と遺徳をしのぶ「家隆忌」が15日、天王寺区夕陽丘町の家隆塚で行われた。明淨

学院高校(阿倍野区文環として新古今和歌集の撰者として知られる藤原家隆の功績と遺徳をしのぶ「家隆忌」が15日、天王寺区夕陽丘町の家隆塚で行われた。明淨

学院高校(阿倍野区文環として新古今和歌集の撰者として知られる藤原家隆の功績と遺徳をしのぶ「家隆忌」が15日、天王寺区夕陽丘町の家隆塚で行われた。明淨

雨の中、明淨学院高校の生徒らが参列して行われた家隆忌



同校が情操教育の一環として、1957年から毎年行っている伝

が詠んだ和歌93首を生徒の代表が詠み上げた。

同校の生徒や教職員らが詠んだ和歌93首を生徒の代表が詠み上げた。

同校の生徒や教職員らが詠んだ和歌93首を生徒の代表が詠み上げた。

同校の生徒や教職員らが詠んだ和歌93首を生徒の代表が詠み上げた。

同校の生徒や教職員らが詠んだ和歌93首を生徒の代表が詠み上げた。

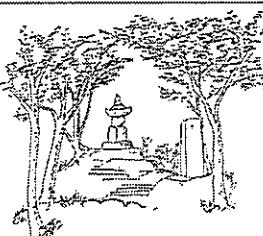
同校の生徒や教職員らが詠んだ和歌93首を生徒の代表が詠み上げた。

同校の生徒や教職員らが詠んだ和歌93首を生徒の代表が詠み上げた。

同校の生徒や教職員らが詠んだ和歌93首を生徒の代表が詠み上げた。

同校の生徒や教職員らが詠んだ和歌93首を生徒の代表が詠み上げた。

同校の生徒や教職員らが詠んだ和歌93首を生徒の代表が詠み上げた。



「眼に映る」から「心に響く」そして「湧き出でるように詠む」と、理解していくても作品としては反映していないようです。

嶋先生のお話の中で「場面が浮かび上がる」・「快い余情が残る」の二つの事が歌の大重要な要素だとご指導頂きました。「言葉は生きている」とも伺いました。心が萎えて辛く悲しい時、悪しき思いに支配されそうな時、その気持ちのまま発せられた言葉は耳から心身へと戻り悪循環が繰り返され、心が昇

華されないと。和歌を詠むことは言葉遊びに留まらず様々な気づきを与える事だと知り、「楽しく短歌を詠む会」に参加させて頂く事は大いなる喜びです。

しかし、「継続は力」云々だけでは事足りない私が今ここにいます。

明日からは、自然界、人間界に現れる現象、現実を見据え、その當みに心寄せ、そしてその向こうにあるだろう見えない物をイメージして言葉を紡ぎだ

す、美しい音として。今以上の努力有るのみです。

表彰状

第五回伊藤園やまと新琴交賞

作詩特別賞

吉岡 多喜子 殿

山城さの黒さ土壤に草吹く春

あなたのお品は第三回伊藤園

おもお茶新俳句大賞において

多数の応募の中から右の賞に

選ばれましたので、ここに表彰

いたします。

平成25年6月7日
伊藤園新俳句大賞事務局

☆平成 24 年度 クラブ・個人表彰☆

<クラブ>

吹奏楽部

- ・第 51 回大阪府吹奏楽コンクール 特別演奏
- ・第 62 回関西吹奏楽コンクール 金賞(関西代表)
- ・第 60 回全日本吹奏楽コンクール 銀賞
- ・第 25 回大阪府マーチングコンテスト
高等学校以上の部 Open Entry 優秀賞
- ・第 22 回マーチングバンド・パントワーリング大阪府大会 金賞
- ・第 34 回マーチングバンド関西大会
高等学校の部 全国コンテスト部門 金賞(全国大会出場)

バスケットボール部

- ・第 67 回大阪高等学校総合体育大会 第 5 位
- ・第 60 回大阪高等学校バスケットボール新人大会 第 6 位

バレー ボール部

- ・平成 24 年度大阪高等学校体育連盟バレー ボール専門部
優秀選手賞 岸田 美里
- SUMMER CUP 2012 第 3 位
- ・第 59 回大阪私学総合体育大会バレー ボール優勝大会
第 5 位(近畿私学大会出場)
(全国私学大会出場)
- ・平成 24 年度大阪高校新人大会 第 2 次予選 ベスト 16

水泳部

- ・大阪高校対抗選手権水泳競技大会(200m 背泳)
第 3 位 寺田 彩夏
- ・第 28 回大阪高校第三地区水泳合同記録会
女子総合 第 4 位
- 女子 200m リレー 第 2 位(藤原・寺田・勝田・濱田)
- 女子 200m メドレーリレー 第 3 位(藤原・寺田・勝田・濱田)
- 女子 100m 自由形 2・3 年生の部 第 2 位 濱田 彩乃
- 女子 50m 平泳ぎ 1 年生の部 第 3 位 勝田 朱里
- 女子 50m 自由形 1 年生の部 第 2 位 寺田 紗菜
- 女子 50m 自由形 1 年生の部 第 3 位 藤原 麻衣
- 女子 100m 背泳ぎ 1 年生の部 第 1 位 寺田 紗菜
- 女子 200m 個人メドレー 1 年生の部 第 3 位 勝田 朱里
- 女子 50m バタフライ 1 年生の部 第 1 位 藤原 麻衣
- ・大阪高校新人水泳競技大会
競泳女子の部 100m 背泳 第 5 位 寺田 紗菜
- ・第 59 回大阪私立高等学校総合体育大会
女子 200m 背泳ぎの部 第 2 位 寺田 彩夏

スキーパーク

- ・第 28 回大阪高等学校クロスカントリー大会
学校対抗女子の部 第 3 位(杉本美優・平山真帆・石神歩佳)
- ・第 63 回大阪高等学校総合体育大会
女子総合の部 第 2 位
- ・平成 24 年度近畿高等学校第 61 回スキーリンピック大会
女子総合の部 第 3 位

- ・第 63 回大阪高等学校総合体育大会
女子スラロームの部 優勝 折口 美穂
- 第 3 位 三室 純加
- 女子ジャイアントスラロームの部 優勝 三室 純加
- 第 2 位 折口 美穂
- ・平成 24 年度近畿高等学校第 61 回スキーリンピック大会
女子スラロームの部 優勝 折口 美穂
- 女子ジャイアントスラロームの部 第 3 位 折口 美穂
- 第 5 位 三室 純加
- ・第 45 回大阪府クラブ対抗スキー競技大会
少年女子ジャイアントスラロームの部 第 1 位 河野 美佳
- 第 2 位 南口 舞奈
- 第 3 位 前田 彩子
- 第 4 位 安藤はづき

ソフトテニス部

- ・大阪高校春季大会(女子団体戦)予選リーグ 第 1 位
- ・大阪高校春季大会(女子個人戦)第 7 ブロック予選
第 2 位 岡崎・中川組
- 第 3 位 杉村・西野組
- 第 3 位 板原・道川組
- 第 5 位 井藤・奥平組
- ・第 59 回大阪私立高等学校総合体育大会
女子個人の部 第 5 位 岡崎・梅川組
- ・大阪高校新人大会(女子個人戦)第 7 ブロック予選
第 2 位 岡崎・梅川組
- 第 3 位 板原・道川組
- 第 5 位 井藤・西野組
- ・大阪高校総合体育大会(女子団体戦)予選リーグ 第 1 位

生徒会

- ・第 16 回ボランティア・スピリット賞 感謝状
Team 台湾(河邊由樹・滝沢芽久美・犬居梢・西口史織)
- ・ソロブチミスト日本財団学生ボランティア賞 感謝状
ボランティアチーム

<個人・学校表彰>

- ・第 2 回チャレンジ川柳 入賞 井上満里奈(2~1)
- ノミネート賞 井上 祐希(2~4)
- ・第 23 回上田三四二記念「小野市短歌フォーラム」
優秀賞 桧谷菜奈加(2~1)
- ・第 23 回伊藤園お~いお茶新俳句大賞 高校生の部
大賞 久保智夏子(2~3)
- 都道府県賞 伊カ ファイア(2~3)
- ・第 45 回写生大会 奨励賞 山口美紗稀(3~6)
- ・第 61 回大阪私学美術展 奨励賞 川田 美帆(2~7)
- ・第 55 回全国硬筆作品展 大阪市長賞 海老由起子(3~3)
- ・第 55 回全国硬筆作品展覧会
会長賞 久保智夏子(2~3)
- 大阪府教育委員会賞 北 千尋(3~4)
- 審査委員長賞 松村 杏(2~2)

△編集後記△

今年度の総会は、ひさしぶりに明淨

学院本校にて楽しいひと時を過ごそうと計画いたしました。吹奏楽部の迫力のある演奏を楽しめたでしょうか。
ましたが、その内、やはり数多くの消息不明者や住居変更等で戻ってきてます。お友達で住所を変更し、まだ照思会へ届け出ておられない人をご存知の方は是非会までお知らせ下さい。

大阪府 PTA 協議会賞

- 折口 美穂(2~3)
- 椿井菜里有(2~5)
- 不破那奈美(3~1)
- 田中紀美加(2~4)
- 太田 敬子(1~2)
- 高橋実紗貴(1~7)
- 今田佳奈実(1~3)
- 田中 奏美(2~5)
- 岩井 佳奈(2~1)
- 瀬上 澄名(1~5)
- 島田 実保(1~6)
- 西村 莘(3~2)
- 福井 美佑(1~1)
- 森永 凪子(1~4)
- 堀口 千鶴(2~4)
- 釜谷安加里(2~1)

手紙文化振興賞

- ・第 22 回日本クラシック音楽コンクール
優秀賞 岩崎 捩美(1~6)
- ・平成 24 年度「税に関する高校生の作文」
優秀賞 堀尾 菜桜(2~7)

・第 56 回全国書きぞめ作品展覧会

- 手紙文化振興賞 小川 瑠璃(1~1)
- 大阪府知事賞 藤田さやか(3~4)
- 大阪市長賞 不破那奈美(3~1)
- 大阪府議会議長賞 横山 柚季(3~3)
- 大阪市会議長賞 山藤 美穂(3~2)
- 大阪府 PTA 協議会賞 仲本あかね(2~3)
- 今田佳奈実(1~3)

全日本芸術振興学会賞

- 田中紀美加(2~4)
- 児島 幸(1~8)
- 日本書道藝術連盟協議会賞 折口 美穂(2~3)
- 片岡可奈子(1~2)

日本書道教育連盟賞

- 田中 奏美(2~5)
- 及川恵利奈(2~1)
- 松村 杏(2~2)
- 神山 奈々(1~5)
- 鶴田 桃子(1~6)
- 藤田 菜生(1~4)

研究会賞 88 名

- ・第 7 回「いのちと献血俳句コンテスト」高校の部 団体賞
高校生の部 入選 片岡可奈子(1~2)
- ・第 18 回全国俳句募集「食の一句」テーマ部門
佳作 矢崎 京加(1~2)

- 今井美穂里(1~3)
- 松岡 春水(1~7)
- ・第 27 回管楽器ソロコンテスト
最優秀賞 岩崎 捩美(1~6)
- ・第 17 回全日本中学生・高校生管楽器ソロコンテスト
高校生部門 関西地区代表として推薦 岩崎 捩美(1~6)

